



令和6年度 日本PTA年次表彰式を開催！

令和6年11月15日(金)ホテルニューオータニにて

令和6年11月15日(金)に東京・千代田区のホテルニューオータニにおいて、令和6年度日本PTA年次表彰式が文部科学大臣代理として茂里総合教育政策局長を迎えて開催され、PTA活動の資質向上及び活性化のため、法人の目的に沿って顕著な業績をあげたPTAに対し、日本PTA全国協議会会長賞として100団体と189人の個人に表彰状が授与されました。

併せて開催された第46回全国小・中学校PTA広報紙コンクール表彰式では、全国より小学校・中学校・小中一貫校PTAより総数2,800点の作品の応募から、一次審査、二次審査、三次審査、最終審査を慎重且つ厳正に行い、45団体に「文部科学大臣賞」をはじめとする各賞の表彰状が授与されました。

来賓祝辞



文部科学省総合教育政策局
より
茂里 毅 局長

子供たちの成長を地域全体で支える社会の実現に向けて、
お力添えをいただきたい

本日、令和6年度「日本PTA全国協議会」年次表彰式が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。
また、本日栄えある賞を受

賞された皆様におかれましては、PTA活動の振興に多大な貢献をされました。これまでの御功績に対し、深く敬意を表します。
皆様方におかれましては、子供たちに寄り添うPTA活動のリーダーとして、各地域の実情に応じた活動を推進していただいております。引き続き、子供たちの成長を地域全体で支える社会の実現に向

けて、お力添えをいただきま

すようお願い申し上げます。

さて、日本PTA全国協議会におかれては、公益認定等委員会の指摘を踏まえ、早急に適切なガバナンスを構築していただきますよう、切にお願い申し上げます。

各PTAにおける活動が子供たちにとって充実した取組となることを期待するとともに、文部科学省として

も、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進や、休日の部活動の地域連携・地域移行に向けた環境の一体的な整備を進めてまいります。

結びに、公益社団法人日本PTA全国協議会のますますの御発展と、皆様の一層の御活躍を祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

会長式辞



公益社団法人
日本PTA全国協議会
太田 敬介 会長

これからも全国各地でPTAの大切さを伝え続ける
大切な役割を担っていただきたい

本日、ここに公益社団法人日本PTA全国協議会、令和6年度年次表彰式を開催いたします。まず、文部科学省総合教育政策局、茂里毅局長はじめ、御来賓の皆様にご出席いただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。そして、全国からお集まりいただいたご受賞の皆様、その多大なるご功績に対し、心より、敬意と

感謝、お祝いを申し上げます。今、この場に身を置き、これまでのPTA活動や、出会ってきた多くの仲間の顔を思い浮かべていらっしゃるのはないでしょうか。それらの思い出の中には、嬉しかったこと、楽しかったこと、もたくさんあるかと思いますが、一方、大変だったこと、辛かったこともあったのではないのでしょうか。しかしそれらを含め、PTAをやってきた良かった、そのように思っただけでいるのであれば、たいへん嬉しく思います。

今、PTAも難しい面がありま

す。インターネットで「PTA」と検索すると、それに続いてネガティブな言葉が溢れ出てきます。そのような時代において、実際にPTAと真摯に向き合い、実践を積み重ねてきた皆様がい

ろいろあったけど、PTAをやってきたよかった「PTA」という組織はなくてはならない存在だ」と感じていただいているその思いは、まさにPTAの「宝」なのです。是非、これからはそれぞれの地元において、それらの思いを、一人でも多くの皆様に伝え続けていただかせませんか。

結びに、改めて、ご受賞の皆様にお祝いを申し上げますとともに、今後、更なるご活躍の場があられますことをお祈り申し上げます。そして、今、申し上げた、これからも全国各地でPTAの大切さを伝え続ける大切な役割を担っていただきま



発行所
〒107-0052
東京都港区赤坂7丁目
5番38号
公益社団法人
日本PTA全国協議会
発行人 太田 敬介
電話 03(5545)7151
FAX 03(5545)7152
ホームページアドレス
<https://www.nippon-pta.or.jp/>



この二次元コードをスマートフォンなどで読み取っていただきますと、日本PTA全国協議会のホームページにアクセスできます。

企画編集協力
日本教育新聞社

綱 領	
本の会	本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校および中学校におけるPTA活動を通して、わが国における社会教育および家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校、地域の連携を深め、児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与する。

主な内容	
1・2・3面	○令和6年度 日本PTA年次表彰式を開催！
4・5面	○日本PTAブロック研究大会が8ブロックの各地で開催！
6面	○三行詩入賞者・作品一覧
7面	○Information 広報委員会からのお知らせ
8面	○開催予告・全国研究大会石川大会

令和6年度年次表彰・団体表彰	
北海道	壮警町立壮警中学校PTA
	中標津町立中標津東小学校PTA
	藻岩北小学校保護者と教職員の会
青森県	札幌市立月寒小学校父母と先生の会
岩手県	大間町連合PTA
	軽米町立軽米中学校PTA
	北上市立飯豊小学校PTA
宮城県	大崎市立敷玉小学校PTA
	富谷市立成田中学校PTA
	仙台市立新田小学校父母教師会
	仙台市立沖野中学校父母教師会
秋田県	能代市立二ツ井小学校PTA
	湯沢市立湯沢北中学校PTA
山形県	酒田市立鳥海小学校保護者と教師の会
	鶴岡市立朝日中学校PTA
福島県	いわき市立豊間小学校父母と教師の会
	金山町立横田小学校父母と教師の会
新潟県	見附市立見附特別支援学校PTA
	長岡市立神田小学校PTA
	新潟市中央区小中学校PTA連合会
茨城県	洞峰学園つくば市立谷田部東中学校PTA
	筑西市立関城中学校PTA
栃木県	茂木町立逆川小学校PTA
群馬県	群馬大学共同教育学部附属中学校PTA
	富岡市立妙義小学校PTA
埼玉県	桶川市立加納中学校PTA
	熊谷市立成田星宮小学校PTA
千葉県	流山市PTA連絡協議会
神奈川県	大磯町立大磯小学校PTA
	海老名市PTA連絡協議会
	川崎市立川崎小学校父母と先生の会
	横浜市立荏田小学校 保護者と教職員の会
	横浜市内上郷小学校PTA
	横浜市内菊名小学校「保護者と教職員の会」
	相模原市立広陵小学校PTA
山梨県	甲州市立塩山北中学校PTA
	都留市立宝小学校PTA
長野県	飯田市立浜井場小学校PTA
	上田市立第二中学校PTA
静岡県	富士宮市立柚野小学校PTA
	静岡市PTA連絡協議会
愛知県	稲沢市立高御堂小学校PTA
	尾張旭市立西中学校PTA
	大府市立大府北中学校PTA
	碧南市立鷺塚小学校PTA
	田原市立赤羽根中学校PTA
	名古屋市内吉根小学校PTA
三重県	名古屋市立大江中学校PTA
	伊勢市立有緒小学校PTA
岐阜県	津市立上野小学校PTA
	山県市立桜尾小学校PTA
富山県	下呂市立竹原小学校PTA
	黒部市立石田小学校PTA
石川県	高岡市立国吉義務教育学校PTA
	加賀市立山代小学校PTA
福井県	宝達志水町立宝達中学校PTA
	越前市万葉中学校PTA
京都府	網野学園保幼小中一貫校PTA・保護者会
	与謝地方PTA連絡協議会
	京都市立神川小学校PTA
	京都市立安祥寺中学校PTA
大阪府	能勢町立能勢ささゆり学園PTA
	茨木市立太田中学校PTA
	交野市立妙見坂小学校PTA
	八尾市立高安小中学校PTA
	岬町立深日小学校PTA
	大阪市立鷹合小学校PTA
兵庫県	大阪市立蒲生中学校PTA
	伊丹市立有岡小学校PTA
和歌山県	和歌山市立貴志中学校育友会
鳥取県	鳥取市立東中学校教育振興会
	倉吉市中学校PTA連合会
島根県	大田市立第一中学校PTA
岡山県	吉備中央町立津賀小学校PTA
広島県	福山市立南小学校PTA
	福山市立中央中学校PTA
	広島市立阿戸小中学校PTA
山口県	山陽小野田市立有帆小学校育友会
	山陽小野田市立赤崎小学校・竜王中学校松原分校育友会
徳島県	板野町板野南小学校PTA
	阿南市立橘小学校PTA
香川県	宇多津町立宇多津北小学校PTA
	高松市立木太南小学校PTA
愛媛県	東温市立東谷小学校・幼稚園PTA
	西予市立宇和中学校PTA
福岡県	行橋市立泉小学校保護者教師会
	福岡市立三宅小学校PTA
佐賀県	佐賀市立城東中学校PTA・城西中学校PTA
	佐賀市立川副ブロックPTA
長崎県	諫早市立喜々津東小学校PTA
	熊本県玉名市立滑石小学校PTA
熊本県	熊本県菊池市立菊池南中学校PTA
	宇佐市PTA連合会
大分県	豊後大野市立三重中学校PTA
	国富町立木脇小学校PTA
宮崎県	日向市立財光寺中学校PTA
	いちき串木野市立羽島中学校PTA
鹿児島県	曾於市立諏訪小学校PTA
	名護市立名護中学校PTA
沖縄県	那覇市立石嶺中学校PTA

イギリスの歴史哲学者トインビーは一民族滅亡の三原則を以下のように唱えました。

1.理想や理念を失った民族

2.すべての価値をお金や物質で捉え、心の価値を見失った民族

3.自国の歴史を忘れた民族

これらのことは企業や組織、このPTAにも当てはまることです。

みなさんはPTAの理念や歴史、本質的な心の価値を大切にしていますか。通学路に目を向けると、登下校時に街角に立って見守りをしてくれる人がいます。そこにはPTAの皆さんは



受賞者代表
江田 明弘 氏

代表謝辞

子供たちが「この国にうまれて本当に良かった!」と、心からそう言えるような国を次代へ繋いでいくことが社会教育団体日本PTAの使命

もちろんですが、会員ではない方の姿もあります。始まりは自分の子供や孫のためにやり始めたこと、しかし、子供たちが卒業をしてもなお、その活動を続けている人がいます。もしPTAがなければ学校や地域へ目が向くこともなかった。そもそもPTAの目的とは何か。地域社会に対する個々の意識変革をするための団体です。私的なことだけではなく、公的な視点を広く高くすることにあります。これが社会教育の在り方です。

PTAはあくまでも道具、理想を描きその理想に向かって行動するための道具。道具は使うものであって、使われるものでも。ましてや守るものでもありません。いま組織を続けていくことが目的になっていませんか。

「日本PTA」であるなら、一人ひとりが社会・国家の一員として正しい国家観を有し、PTAの歌にあるように「平和で住みよい日本」のカタチを創造し行動すること。そして子供たちが「この国にうまれて本当に良かった!」と、心からそう言えるような国を次代へ繋いでいくこと。それが今の時代を生きる我々の最低限の担いであると同時に、社会教育団体日本PTAの使命であるはずです。

PTAは自分の意志とは関係なく多様な情報を得る場所であり、それは気づきを得る機会。活動中は気づきの連続。気づきを自分の言葉にし、行動が伴った時に初めて学びになるもの。PTAを卒業される皆さんは地域社会が活動の場、まさにこれからが本番です。気づきを学びに変えるとき。それが今です。



全国大会感謝状を授与された浦山川崎大会実行委員長



太田会長から表彰状が各受賞者に授与された

第46回 全国小・中学校PTA広報紙コンクール表彰式

第46回全国小・中学校PTA広報紙コンクール入賞校一覧

■文部科学大臣賞		
小学校PTAの部	いそかぜ	大磯町立大磯小学校PTA
中学校PTAの部	MATSUSHIRO PTA PAPER	長野市立松代中学校PTA
■日本PTA全国協議会 会長賞		
小学校PTAの部	仁和小学校PTAだより	仁和小学校PTA
	のぎっこ通信	松江市立乃木小学校PTA
	東 苑	那覇市立城南小学校PTA
中学校PTAの部	みどり	岩見沢市立緑中学校PTA
	堀江だより	大阪市立堀江中学校PTA
	でいご	浦添市立浦添中学校PTA
■日本教育新聞社 社長賞		
小学校PTAの部	GOGOえんさん	福井市円山小学校PTA
	広報みなみ	糸島市立前原南小学校父母教師会
	西 池	宮崎市立西池小学校PTA
中学校PTAの部	大銀杏	八戸市立根城中学校父母と教師の会
	いばら	茨城大学教育学部附属中学校PTA
	ひまわり	西条市立東予西中学校PTA
■教育家庭新聞社 社長賞		
小学校PTAの部	あかつき	宇都宮市立西小学校PTA
	学 鐘	安来市立十神小学校PTA
中学校PTAの部	たがえし	富山大学教育学部附属中学校PTA
	清 流	安来市立第一中学校PTA
■企画賞		
小学校PTAの部	ひばかり	長浜市立永原小学校PTA
中学校PTAの部	さくら	長崎市立桜馬場中学校PTA
■写真賞		
小学校PTAの部	やしろ南PTAタイムズ	福井市社南小学校PTA
中学校PTAの部	まほろば	和泉市立南池田中学校PTA
■レイアウト賞		
小学校PTAの部	forêt	泉大津市立 穴師小学校PTA
中学校PTAの部	PTA会報	北栄町立北条中学校PTA
■佳作		
小学校PTAの部	こだま	旭川市立東五条小学校PTA
	Smile	札幌市立円山小学校保護者と先生の会
	城 北	名古屋市立城北小学校PTA
	ひがし白壁	名古屋市立東白壁小学校PTA
	あゆみ	各務原市立那加第三小学校PTA
	クローバー	京丹後市立かぶと山小学校PTA
	ふじと PTA 新聞	東大阪市立藤戸小学校PTA
	PTAだより たいま	葛城市立當麻小学校PTA
	さくらばる	宇美町立桜原小学校PTA
	しおさい	南島原市立野田小学校PTA
中学校PTAの部	福 移	札幌市立義務教育学校福移学園PTA
	わかば	柏市立柏第四中学校PTA
	あゆみ	沼津市立金岡中学校PTA
	くすのき	長久手市立北中学校PTA
	佐屋中 PTA 新聞	愛西市立佐屋中学校PTA
	KK-PTA TIMES	京都市立京都京北小中学校PTA
	野田中PTA	大阪市立野田中学校PTA
	星 雲	松江市立八雲中学校PTA
	北稜かわらばん	香川県立高松北中学校・高等学校PTA
	Green9	木城町立みどりの杜木城学園PTA
■WEB版日本PTA全国協議会 会長賞		
	ひよみなPTA ブログ	横浜市立日吉南小学校PTA



受賞者の皆さん

第46回となる当コンクールは、最高位の「文部科学大臣賞」を小学校PTAの部では、大磯町立大磯小学校PTAの「いそかぜ」が、中学校PTAの部では、長野市立松代中学校PTAの「MATSUSHIRO PTA PAPER」が受賞しました。

大磯小学校PTAが発行する広報紙「いそかぜ」は、20年度に、従来型のPTAから任意加入を明確化し、広報サポのほか、校内の畑で子供たちが実施している野菜作りを支える「畑サポ」、ICT情報通信技術の学校への導入を支援する「ITサポ」など多様な活動を展開しており、広報紙ではその成果や意義を写真と文章で報告しています。

また、俳句の投句など子供たちの参加企画も多数あるほか、学校教諭の協力のもと、写真掲載許可を一つ一つ取り、児童の笑顔が全面に出

文部科学大臣賞に小学校PTAの部では大磯町立大磯小学校PTAが、中学校PTAの部では長野市立松代中学校PTAが受賞！

公益社団法人日本PTA全国協議会では、日本PTA全国協議会傘下の小・中学校で発行するPTA広報紙を募集し、優秀な作品を表彰しています。当コンクールの趣旨は、各小・中学校PTAで発行するPTA広報紙作品を広く募集し、優秀作品を表彰・公開することにより、PTA広報活動の活性化を促進し、PTA活動の一助となることを目的としています。

令和6年度に実施した第46回全国小・中学校PTA広報紙コンクールでは、全国より小学校・中学校・小中一貫校PTAより総数2,800点の作品のご応募をいただき、二次審査、三次審査、最終審査を慎重且つ厳正に行い、各賞及び佳作を決定しました。



長野市立松代中学校PTAの広報紙「MATSUSHIRO PTA PAPER」

る広報紙を実現したことが評価され、今回の受賞となりました。

長野市立松代中学校PTAの「MATSUSHIRO PTA PAPER」は、「親子で話したくなる」をテーマに、学校や地域の情報について、先生や生徒などを取材対象としたインタビュー記事を活用するなど、親しみやすく、手に取ってもらえる広報紙となっています。

全国小・中学校PTA広報紙コンクールについて	
趣 旨	各小・中学校PTAで発行するPTA広報紙作品を広く募集し、優秀作品を表彰・公開することにより、PTA広報活動の活性化を促進し、PTA活動の一助となることを目的とする。
審査の流れ	1 各地方協議会で第一次審査を行い小学校PTA6点以内、中学校PTA4点以内を選考。 2 各地方協議会は第一次審査した作品を公益社団法人日本PTA全国協議会事務局に送付する。 3 公益社団法人日本PTA全国協議会は第一次審査で選ばれた作品について第二次、第三次、最終審査の3回の審査を行う。 4 「WEB版」は、各地方協議会で第一次審査を行い3点以内で選考したものを、公益社団法人日本PTA全国協議会において、最終審査で審査を行う。 ※年に1回以上発行された、単位PTAの広報紙が審査対象。
審査基準	PTA広報紙のもつ目的・使命・記事の内容・編集方法・レイアウト・見出し・文章などについて総合的に審査する。
審査委員	文部科学省、学識経験者、公益社団法人日本PTA全国協議会、日本教育新聞社、教育家庭新聞社



文部科学大臣賞を受賞した大磯小学校PTAの皆さん



日本PTA全国協議会会長賞が太田会長から授与された
教育家庭新聞社社長賞が柳社長から授与された
日本教育新聞社社長賞が小林社長から授与された

日本PTAブロック研究大会が8ブロックの各地で開催！

8ブロック各地域の特色ある 研究大会の開催となりました。

第56回日本PTA関東ブロック研究大会

川崎大会

【開催日】令和6年8月23日（金）24日（土）
【会 場】とどろきアリーナ

【大会スローガン】

ウェルビーイングの実現を、川崎の地から、活かそう「縁」の力、

【メインテーマ】

社会の大きな変化を学び、進化を考えるPTA活動
自己肯定感を高め合い、活力あるPTA活動
誰も取り残さない、居場所を大切にするPTA活動

大会初となる全国から300人の参加者が一つの会場
「とどろきアリーナ」に集い、PTAの「縁」が紡ぐ家庭・学
校・地域の道を通じてウェル
ビーイングの大切さを、社会
に伝え広げる意義深い大会と
なりました。

第80回日本PTA東北ブロック研究大会

愛知大会

【開催日】分科会／令和6年10月25日（金）
全体会／令和6年10月26日（土）
【会 場】Nitterra 日本特殊陶業市民会館
他2会場

【テーマ】

誇りを胸に笑顔を繋ぐ心の輪、輝く未来であるために、

東海北陸ブロック6県1市のPTA会員が一帯に会し、PTAの当面する今日的課題について研究・実践・活動した成果をもとにPTA活動の情報交換を行いました。分科会では互いに協力してPTA活動の振興に資することを目的に2つの実践発表と講師による講演を開催しました。

全体会では、日本高校ダンス選手権全国大会準優勝をはじめ輝かしい実績をもつ豊田大谷高等学校ダンス部がオー
プニングアトラクションとしてダンスを披露。
式典の後、記念公演として、愛知子供の幸せと平和を願う合唱団とともに歌う合唱団（指揮・作曲／藤村記一郎氏）による「ぞうれっしゃがやってきた」が演じられました。名古屋



豊田大谷高等学校ダンス部によるアトラクション



開放感あふれる360度全方向のステージ

■分科会テーマ

■第1分科会 家庭教育A

実践発表①
殿下校思い出ツナグプロジェクト
～閉校の悲しみを希望に変えて、未来へツナグ～
実践発表②
手軽なPTA活動を目指して
～負担なく・無理なく・簡単に～

■第2分科会 家庭教育B

実践発表①
今こそ！PTA
～子どもを見守るPTAが一連托生に～
実践発表②
「例年通り」からの脱却！
～楽しく・無理なく・ためになるPTA活動を目指して～

■第3分科会 学校支援A

実践発表①
今だからできること、そして、今しかできないPTA活動
～1.1 能登半島地震 被災地で生まれた本当の協働～
実践発表②
学校の素材を生かし、地域連携を深めるPTA活動
～あったかイベント「親子焼き芋パーティー」～

■第4分科会 学校支援B

実践発表①
持続可能なPTA活動の創造
実践発表②
子どもたちのためにできることを
～子ども・学校に寄り添うPTAをめざして～

■第5分科会 地域連携A

実践発表①
コロナ禍を経てなお、見直し、継続していく地域連携
～地域性と小規模校の特性を生かした、伝統文化の継承～
実践発表②
地域社会との緊密な連携を築こう
～PTA、地域、学校で子どもの成長を見守る～

■第6分科会 地域連携B

実践発表①
地域連携の重要性
～光陽っ子のために（安全・見守り）～
実践発表②
地域と協働・連携するPTA活動
～地域とのつながりを今こそ～



会場全体で「ぞうれっしゃよはしれ」を歌い感動のフィナーレ

仕立ての「ぞうれっしゃ」が全国から名古屋へ。
記念公演の最後には、会場全体で「ぞうれっしゃよはしれ」を歌い、平和の大切さ、命の慈しみを体感する記念公演となりました。

第56回日本PTA東北ブロック研究大会

東青大会

【開催日】分科会／令和6年9月7日（土）
全体会／令和6年9月8日（日）
【会 場】リンクスステーションホール青森
平内町勤労青少年ホーム、青森4市内5会場

【テーマ】

「子どもを感動させる子どもを感動させるにはおまえ自身が感動しなきゃいかん。そのためには学びをとめるな。」
「すべては子どもたちの笑顔のために」※青森市出身の偉人 榎方志功氏の名言を一部流用

「いい大会にするべ」を合言葉に期待と不安を抱え何とか開催まで漕ぎ着けた東青大会。特に今大会の目玉である分科会是对話ということを中心に据え、参加者の意見が反映されるようにと運営にも工夫を凝らしました。
「感動させるためには学びをとめるな」という2日間でした。

「感動させるためには学びをとめるな」という2日間でした。

第71回日本PTA北海道ブロック研究大会

石狩管内・千歳大会

【開催日】分科会／令和6年10月19日（土）
全体会／令和6年10月20日（日）
【会 場】北方ス文化ホール、千歳市内2会場

【大会スローガン】

大切にしたい子育ての神髄
子育ての不易と流行を考える、

【テーマ】

地域や家庭で共に学び、支え合う社会の実現を目指して

7つの分科会のうち2つはオンラインで、それぞれ提言発表とグループ協議を行なわれた植松努氏の「生まれたときから諦め方を知っている人はいない」という言葉から、子どもたちの関わり方を改めて

全体会のオープニングは恵

■分科会テーマ

■第1分科会 組織運営

多方面から見た組織運営のあり方
提言1／優秀賞を受賞した単位PTA活動における組織運営

■第2分科会 家庭教育

保護者が主体的に取り組むPTAプロジェクト活動
提言1／保護者が主体的に取り組むPTAプロジェクト活動

■第3分科会 学校支援

保護者が主体的に取り組むPTAプロジェクト活動
提言1／保護者が主体的に取り組むPTAプロジェクト活動

■第4分科会 地域連携

子育てを支える学校と地域のつながり
提言1／函館市立千代田小学校と地域の連携

■第5分科会 情報

PTAの活性化を図るICTの効果的な活用
提言1／ICTを利用した手稲区PTA連合会の活動
～PTAに参加してよかったと思えるように～
提言2／ICTを利用した手稲区PTA連合会の活動
～窮すれば通ず、原点回復とICT活用で進化したPTA活動～

■特別第1分科会 中学生討論会（Zoom分科会）

SNSとの上手な付き合い方を考える
基調提言／子どもたちの思いから見える、より良いSNSとの関わり方について

■特別第2分科会 地域課題

持続可能なPTA活動を目指して
提言1／新篠津村立新篠津中学校 持続可能なPTA活動を目指して
提言2／当別町立西当別小学校 持続可能なPTA活動を目指して



石狩管内・千歳大会式典の様子



植松努氏による記念講演



東青大会実行委員と仙台市のメンバーが壇上に上がり閉会

■分科会テーマ

■第1分科会 健全育成・家庭教育

「家庭や学校が抱える様々な課題へのフォローアップ」
・心と言葉で語り合える家庭教育・子どもの居場所づくり・ハラスメント化した「いじめ問題」への家庭、学校の対応・全寮制学校ルールから家庭ルールへ・不登校への取組・発達障害への取組

■第2分科会 教職員によるPTA活用法

「教職員のためのPTA活用法」
・教職員を対象としたテーマ・理想の学校教育環境を創出するために必要な教員側からのアプローチについて・PTA組織を活用するための視点について・CS化の流れの中でのPTAの役割とは

■第3分科会 食育と学校環境

「食育から考える健やかな子どもの育成」
・弁当から給食、給食無償化への流れ・食育の役割・給食残渣について・教職員の昼休み問題・地産地消、自産自消・学校給食甲子園優勝養護教諭から

■第4分科会 運動部活動地域移行

「マルチスポーツの可能性と運動部活の地域移行」
・知識と資格を有した指導者の人材確保・保護者の経済的負担の懸念・学校教育との運動の継続確保

■第5分科会 学校統廃合

「子供の立場で学校統合の実態を考える」
・現実的な学校統合シミュレーション・地域の中での学校の役割は統合でどうなるか・子どものための学校統合になっているか・学校が変わる子どもへの家庭でのケア

■特別分科会 組織運営

「保護者の本音と教職員の本音 この狭間でPTAが担うべき役割とは」
・PTA活動の本質的目的や意義について・教職員、保護者から捉える目指すべきPTAの姿・PTA不要論の原因にもなっている活動の形式化や強制的な動員方法の解決策・CS移行による新しいPTAイメージ

第69回日本PTA九州ブロック研究大会

長崎大会

【開催日】分科会／令和6年10月26日（土）
全体会／令和6年10月27日（日）
【会 場】出島メッセ長崎

「大会スローガン」

学びを実践へ！～集まろうで語り合おうでやってみようで～

九州ブロック研究大会長崎大会は、出島メッセ長崎での一カ所集中開催で参加者の利便性を高め、提言発表をもとに参加者同士で話し合い、学び合う6つの分科会が設けられました。各自が希望する分科会に分かれ、ワークショップ形式での研修が行われるとともに、「今目的と課題」をテーマに、参加者アンケートをリアルタイムで共有しながら進めるパネルディスカッションなども実施されました。

歓迎アトラクションとして長崎の伝統芸能である「龍踊



全体会での式典のようす



野々村友紀子氏による記念講演

（じゃおどり）が披露され、その迫力ある演舞は庄巻で総勢4,373人の参加者を魅了しました。

野々村友紀子氏による『強く生きるためのヒント』の記念講演では、心が挫けない子育てについて、「悩んだら考えずに寝る（や）反抗期の子どもは子どもが悪いのではなく、成長ホルモンが悪いんだ」といった視点を提供され、視点を少し変えるだけで、大人たちの子どもへの捉え方がポジティブに変わること気づか

分科会テーマ

- 第1分科会 組織・運営
時代の変化に応じた持続可能なPTA活動
- 第2分科会 家庭教育
楽しみながらもためになる親の学びを進めるPTA活動
- 第3分科会 人権教育
多様性（個性）を意識し、違いを認め合うことで自尊感情を高めるPTA活動
- 第4分科会 教育環境
家庭・学校・地域が協働して教育環境を整えるPTA活動
- 第5分科会 広報・地域連携
家庭・学校・地域・行政とのつながりを深めるPTA活動
- 特別分科会 今日的課題
PTA改革を真正面から考える



長崎の伝統芸能である「龍踊」のアトラクション

され、これからの子育てに役立つヒントを得られました。

第54回日本PTA中国ブロック研究大会

やまぐち大会

【開催日】令和6年11月2日（土）
【会 場】KDDI維新ホール

「大会スローガン」

つむぐ～未来（これから）の大人たちへ～



華やかにオープニングを彩ったアトラクション



大会開会式のようす

「紡ぐ」という言葉は、繊維を引き出し縫うことで糸を作ることですが、この意味合いから学校行事やPTA活動を通じて「保護者と教職員の絆がつむがれること」で、子供たちを思う気持ちがつむがれていくことを願って開催された「やまぐち大会」。

当日は早朝からの豪雨により公共交通機関の運休・遅延、高速道路の一部通行止めなどがありましたが、スケジュールを急遽変更し開催することができました。

山口県在住で数多くの受賞歴を持つダンスチーム「ぼむぼむまろんず」と現在大活躍中の内田温大・弘幸親子によるドラム演奏によるアトラクションで開幕したやまぐち大会は、山口市徳地地区PTA、山口市小郡地区PTA、秋市立萩東中学



貴重な意見が交わされたトークセッション

第50回日本PTA近畿ブロック研究大会

滋賀びわこ大会

【開催日】令和6年11月9日（土）
【会 場】びわ湖大津プリンスホテル

「テーマ」

子供たちの未来のために滋賀から意識と行動を変える

午前中に開催された各分科会では、参加者による活発な意見交流が行われ、午後からの全体会においては、大津市立膳所（ぜぜ）小学校の子供たちによるアトラクション「心をひとつにソーラン節」で幕を開けました。

記念講演には齋藤孝氏（明治大学教授）を迎え、「こどもの未来のためにできること」を



齋藤孝氏による記念講演のようす

第53回日本PTA四国ブロック研究大会

徳島大会

【開催日】令和6年11月17日（日）
【会 場】藍住町総合文化ホール

「テーマ」

未来へ響け！ツナガリの輪！～PTAがあなたのために今できること～

子供たちのしあわせを願う、い（ご）ろから実践活動が続けている四国4県のPTA会員が一堂に集い開催された四国ブロック研究大会徳島大会は、式典前に阿南市立阿南第二中学校ジャズバンド部による素晴らしい演奏で始まりまし

た。

四国ブロックPTA協議会の表彰等が行われた後の基調講演では、「子どもたちが元気で幸せでいられるために親ができること」を演題に鳴門教育大学大学院教授の葛西真記氏が子供たちが、いじめや不登校のない学校生活を送れ



後藤田正純徳島県知事より来賓祝辞を賜りました



葛西真記子氏による基調講演



次期開催「高知大会」のアピール



弓削田健氏による「いのちと夢のコンサート」

【実施要綱】

趣 旨	都市化や核家族化、少子化など、子育てや家庭教育を支える地域の環境が変化している。そこで、改めて家族の会話やコミュニケーションから育まれるきずな・家庭のルール、「早寝早起き朝ごはん」といった子供たちの基本的な生活習慣づくりなど、家庭教育の大切さや命の大切さについて、家族で話し合い一緒に取り組むことを社会全体に呼び掛けていくため、これらをテーマとする三行詩を募集し、表彰を行う。
主 催	公益社団法人日本PTA全国協議会
後 援	文部科学省、こども家庭庁、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会
概 要	募集対象／小学生・中学生と保護者、教職員等 募集内容／「家庭で話そう!我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」に関する三行詩 ・三行詩とは、三行程度の短文の意味合いであり、必ずしも三行である必要はなく、俳句のようなものでも構わない。 ・家族の会話やコミュニケーションから育まれるきずなや家族のルール、子供たちの基本的な生活習慣づくりなどの家庭教育、一人一人の命のつながりや大切さをテーマとして短文で表現したものであること。 ・家庭での日常の出来事や、学校や地域でのエピソードをもとに、家族で話し合った上記テーマに沿った作品であること。 ・小学生部門、中学生部門、一般部門(保護者・教職員)部門ごとに募集。
審査の流れ	公益社団法人日本PTA全国協議会は、第一次審査で選ばれた作品について第二次・第三次審査を行い、ここで選定された作品より最終審査にて、小学生部門・中学生部門・一般部門に対して各々に文部科学大臣賞、内閣府特命担当大臣賞、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会会長賞、公益社団法人日本PTA全国協議会会長賞、佳作等の優秀作品を選定する。

【作品の活用等】

全ての優秀作品の著作権は、公益社団法人日本PTA全国協議会に帰属する。
優秀作品については、公益社団法人日本PTA全国協議会作成の資料やパンフレット、各種イベント等における広報・啓発活動において幅広く活用予定。

楽しい子育て全国キャンペーン

三行詩募集

家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ

募集期間

令和6年5月7日（火）～6月14日（金）

募集対象

小学生、中学生、一般（保護者、教職員等）

応募方法

三行詩(短文)・氏名・年齢(学年)・学校名・住所・電話番号を記入し、ご応募ください。
応募用紙は日本PTA全国協議会のホームページに掲載しています。

選 考

優秀作品を選定し、表彰状を贈呈します。
また、優秀作品を掲載したカレンダーを発行予定です。

応募先

①公立学校に在籍する場合→在籍する学校のPTAへ提出

★学校PTA担当の方へ
応募作品は各学校PTAで取りまとめて都道府県・都・指定都市PTA連合会等へ提出してください。

②その他の場合（私立学校・国立大学附属学校に在籍・連合会所属が不明の場合など）

★各学校PTAで審査を行い、小学校・中学校・一般の各部5点ずつを7月1日(月) 必着で日本PTAへ提出してください。

〒107-0052 東京都赤坂7丁目5番38号 公益社団法人日本PTA 全国協議会

「楽しい子育て全国キャンペーン」三行詩募集係

問い合わせ先（公社）日本PTA全国協議会 電話 03（5545）7151

主 催

公益社団法人日本PTA全国協議会

後 援

文部科学省 こども家庭庁 「早寝早起き朝ごはん」全国協議会

令和6年度「楽しい子育て全国キャンペーン」～家庭で話そう!我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～三行詩募集について、全国より小学生の部・中学生の部・一般の部合計83,461点の作品のご応募をいただき、二次審査、三次審査、最終審査を慎重且つ厳正に行い、各賞及び佳作を決定しました。

令和6年度「楽しい子育て全国キャンペーン」
～家庭で話そう!我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～
三行詩表彰作品が決定！

令和6年度「楽しい子育て全国キャンペーン」三行詩入賞者・作品一覧

■文部科学大臣賞				
小学生の部	新潟県	小日向 礼	こひなた れい	げんかんでママとパパ ろうかのまどにおじいちゃん 2かいのまどからおばあちゃん あっちこっちに手をふって 「いってきます!」
中学生の部	岐阜県	八田 美咲 シルバ	はった みさき	母のさいふでおつかいへ 中には私が昔あげた手紙 「こんなのまだ持ってたんだ」 店の中なのに泣いちゃったじゃん
一般の部	京都府	北澤 有里	きたざわ ゆり	「大丈夫」 なんの根拠もないけれど我が子を守る魔法の言葉
■内閣府特命担当大臣賞				
小学生の部	鹿児島県	郡山 侑也	こおりやま ゆうや	だいすき、だいじ、だいじょうぶ ぼくは、三つの大で がんばれる。
中学生の部	香川県	齊藤 千愛	さいとう ちあ	夕飯で「それからどしたん?」どんどん話をしたくなる 母は我が家の名MC
一般の部	愛知県	仙田 尚宏	せんだ なおひろ	「ねえねえ 見て!見て!」 見て見てがなくなっても ずっとキミのこと見ているからね。
■「早寝早起き朝ごはん」全国協議会会長賞				
小学生の部	名古屋市	高野 美怜菜	たかの みれな	おじいちゃんと育てた野菜畑。 ぐんぐん伸びて天国まで届くといいいな。 ずっと憶えてるよ。 かごいっぱい収穫した新鮮な野菜とニコニコの笑顔。
中学生の部	新潟県	宮下 音楽	みやした めろ	食べたくない また同じ? 父の作る 朝めしに またかの顔になるけれど 空っぽ茶わんに感謝を込める それが今ほくにできること
一般の部	岐阜県	星川 俊輔	ほしかわ しゅんすけ	困りごと チャットじゃなくて 俺に聞け
■日本PTA全国協議会会長賞				
小学生の部	大分県	中尾 瑠菜	なかお るな	パパの音読のお手本 おもしろすぎてまねできない
中学生の部	愛媛県	井上 まひろ	いのうえ まひろ	お母さんの身長を抜いた。うれしかった。 でも、もう甘えられない。そんな気がした。
一般の部	群馬県	西原 敬之	にしはら たかゆき	子育てで 子供の成長願っていたが 成長したのは親みたい

■佳作				
小学生の部	新潟県	井口 みのり	いぐち みのり	家族でお話するって楽しいな 学校、友だちのこと なんでも聞いてくれるだいすきな家族
	京都府	渡辺 哲士	わたなべ てつし	できなくてもだいじょうぶ はじめはだれもが ちょうせんしゃ
	富山県	野口 陽葵	のぐち ひまり	母のとなりで誰がねる? 毎日とりあう私達 遠くにしょんぼりお父さん たまにはお父(とう)の横でねようかな
	長野県	坂原 茉緒	さかはら まお	毎日 妹と大げんか 顔も見たくないと思ったのに 今日もさがしてしまう 全校集会
	栃木県	渡部 遥香	わたなべ はるか	おふろでの 今日1日のほくこく会 体スッカリ 心ほっこり
中学生の部	神奈川県	湯川 芽衣	ゆかわ めい	その一言が、救う命 その一言で、なくなる命 言葉は武器にも救世主にもなる魔法
	石川県	山崎 紗菜	やまさき さな	能登地震 初めて知った 電気なし 水なしのつらさ 家族の笑顔で前進できた
	大阪府	丸山 心音	まるやま しおん	「来なくていい。」 いつもいつも言うけれど ママを探す参観日
	香川県	向井 章仁	むかい あきひと	「何かあったでしょ?」いつものただいまのはずなのに ありがとう。母さん
	埼玉県	金子 智輝	かねこ ともき	自分より 家族や僕に使う時間が多い母 いつかしたいな恩返し
一般の部	宮崎県	新村 明日香	しんむら あすか	「今日学校でね…」 子供の話を聞きながら 会話が弾む帰り道 自宅に向かう道のりが 親子で綴る連絡帳
	京都府	大木 彩子	おおき あやこ	子育てに正解なんて何もない あるとすれば1つだけ 正面から子どもと向きあう気持ちだけ それでいいよね それがいいよね
	石川県	中川 聡美	なかがわ さとみ	障がいでも 出来ないといふ決めたついていたのは 親のほう 諦めず 続けたことで出来るようになった 我が息子 やればできる 子どもの可能性は 無限大
	富山県	山本 佳世子	やまもと かよこ	大嫌いと言える信頼感 大好きと言える安心感 どんな気持ちも全部受け入れる
	新潟県	広井 義人	ひろい よしと	「倒れるまで頑張れ〜!!」 おじいちゃん、それ昭和。 「できるまで頑張れ〜!!」 お母さん、それ平成。 令和は「悔いなく頑張れよ」 でいいですね。

(6)

Information

全国の各協議会による取組
要望活動編

（一社）北九州市PTA協議会

（一社）北九州市PTA協議会（以下北九州市P協）では、夏休み明けに毎年単位PTAからの要望を集約し、市教育委員会に対する要望活動を行っています。

業・部活動に支障が出ているため、エアコン整備をさらに推進し、安全で快適な学習環境の確保の要望を致します。
2、トイレの改善【継続】
子供たちが健康な学校生活を送るためにも、使いやすく

【新規】

ICT機器の利用量増加により、機器の立ち上がりが遅

令和6年度 教育環境要望書 内容（抜粋・要約）
1、特別教室や体育館のエアコン整備【新規】
市内の市立小・中・特別支援学校の多くの特別教室や体育館にはエアコンが未設置です。近年の猛暑の中で、授



要望書を提出した際の写真

くなる、通信速度が低下するなどの支障が出ていると聞いています。円滑な授業のため、インターネット回線やWi-Fiの増強を要望を致します。
4、教職員の定数確保と充実【継続】
教職員の絶対数が不足しており定数確保が急務です。専科指導や特別支援教育、不登校対応に関わる教職員やスクール・サポート・スタッフ等の増員も求められています。
より良い教育環境となるよう、教職員の定数確保と充実をお願いいたします。
令和6年度 市教育委員会と北九州市P協との「教育懇談会」

懇談会のなかで、北九州市P協が独自に開発したPTAクラウドシステム「motto」の登録促進をお願いしました。
PTA活動のDX化を目指す取り組みの目玉として開発された「motto」は、情報通信や会員管理、アンケート機能に加え、災害時の安否確認など防災面にも力を入れています。現在、北九州市の危機管理室との協力を目指し、調整を進めています。
また今後は、市教育委員会だけでなく、北九州市長にも要望書を提出し、さらなる協力を求めています。
本システムの普及により、市内のPTA活動が活性化し、円滑に運営されることともに、子供たちの安心・安全がより一層確保されることを願っています。
PTAの存在意義を周知するため、以下の方法で保護者の皆様へ積極的に情報発信しています。

1. PTA新聞への掲載
活動内容や要望事項、取り組みの進捗を定期的に報告しています。
2. ウェブサイトやSNSの活用
PTAの公式ウェブサイトやSNSを通じて、リアルタイムで情報を発信しています。
3. 保護者会や説明会の開催
保護者会や説明会を通じて、直接保護者の皆様に活動内容を説明し、意見交換を行っています。

広島市PTA協議会

■要望に関する広島市の取り組み
●年に1回、広島市教委に対して文書にて要望しています。

具体的流れとして、例年、いじめ防止事業を展開し、市教委や関係団体等との意見交換を通じて、活動報告や情報共有を実施し、草の根活動を行っています。

要望内容は、子ども達と教員の教育環境にかかわること全般についてです。

●特別教室、体育館のエアコン設置について

●小中学校講師へのタブレット端末配布について

●Wi-Fi環境の改善について

●教職員による児童生徒に対する性犯罪、性暴力、ハラスメントに関する対策などについて

●いじめアンケートの改善について

●PTAの縮小が進む中で今後のPTAが向かうべき方向について

●部活の地域移行にPTAが果たす役割について

その際、年に一度、市長へ表敬訪問し以下の内容の報告・周知・事業協力をお願いしています

●いじめ防止プロジェクトの活動報告
●いじめの未然防止と家庭・学校・地域社会との持続可能な取り組みについて

今までの要望による成果として、「いじめ」に関する要望取組みに関し、児童生徒に配布されているタブレットに相談窓口につながるアプリが導入される予定になりました。



市長へ表敬訪問時の写真

今後、取り上げて欲しい協議会は広報委員会まで情報提供ください。
次号は、都道府県協議会から取り上げますので、乞うご期待！

開催予告

第73回 日本PTA全国研究大会

第81回 日本PTA東海北陸ブロック研究大会

石川大会

令和7年 8月22日(金)・23日(土)

大会スローガン

「サステナブルな未来づくりのために」

将来の変化を予測するのが難しい時代にあって、私たちは持続可能(サステナブル:Sustainable)な未来を描きたい、そして子供が自らよりよい社会と幸福な人生を創り出していけるような環境を創りたいと考えています。そのために集い、諸課題について学び合い、自らの学びをアップデートしていきましょう。



分科会

8月22日(金) 13時30分～16時45分

第1分科会／家庭教育

小松市 石川県小松市團十郎芸術劇場うらら

第2分科会／学校教育

加賀市 加賀市文化会館

第3分科会／地域連携

七尾市 七尾市文化ホール

第4分科会／人権教育

白山市 白山市松任文化会館ピーノ

第5分科会／広報活動

金沢市 金沢歌劇座

第6分科会／今日的課題

野々市市 野々市市文化会館フォルテ

特別第1分科会【日本PTA担当】

金沢市 石川県立音楽堂邦楽ホール

特別第2分科会【文部科学省協力】

金沢市 石川県立音楽堂コンサートホール

大会開催にあたって

令和6年1月1日に能登地方を震源とする令和6年能登半島地震の発災直後より、全国の皆さまから、温かい励ましのお言葉をいただきました。この場をお借りして、公益社団法人日本PTA全国協議会を通じて支援金をお寄せいただいた皆さま、直接石川県PTA連合会に支援金をお寄せいただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。石川県PTA連合会では、お寄せいただいたお気持ちを具体的な形にすべく、PTAだからこそできる支援活動に努めて参ります。

想像を超える被災状況の中、被災地を離れて前例のない中学生の集団避難も行われました。少しずつ復旧復興が進んではいますが、地元を離れざるを得ない会員も少なくありません。このような中で私たちは、全国大会を開催すべきか、開催できるのか、県内市町の会長から意見を聞き協議を重ねました。当初は開催延期または中止の意見もありましたが、能登地区の会員から全国大会にはできる範囲内で協力したいとの話があり、被災した会員に十分配慮した上で、全国大会を「開催する」方向でまとまりました。

令和6年5月、令和6年度の石川県PTA連合会定期総会で、改めて第73回日本PTA全国研究大会並びに第81回日本PTA東海北陸ブロック研究大会石川大会の開催を確認し、全国大会へ再チャレンジすることになりました。

十分な準備ができないこともあるかとは思いますが、精いっぱい努めて参ります。石川県へのご来県をお待ちしております。



全体会

8月23日(土) 9時～12時20分

石川県立音楽堂コンサートホールをメイン会場とし、1日目の分科会会場をサテライト会場としてインターネット回線でつなぎ、オンライン開催といたします。



世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」をはじめ、美しい景観と多様な生物に恵まれた七尾湾など自然豊かな石川県。
日本を代表する工芸品として有名な輪島塗や九谷焼、山中漆器などの伝統工芸産業も盛んです。
石川県は、日本国の貴重な財産でもあります。